

特集

## 第5回 全国障害者スポーツ大会

(輝いて!おかやま大会)

山口県選手団

「大活躍!!」

個人  
種目

金メダル：26個

銀メダル：12個

銅メダル：16個

大会新記録：5種目

大会記録：1種目



平成17年11月26日に行われた知事報告会

## メダル獲得数は過去最多 選手一人ひとりが持てる力を十分に発揮

山口県選手団 団長 **橋本 達則**  
(山口県障害者スポーツ協会 会長)

11月5日から7日までの3日間、私たち山口県選手団、選手39名役員30名は岡山県で開催されました第5回全国障害者スポーツ大会「輝いて！おかやま大会」に参加してまいりました。会期中、個人競技は6競技延べ71種目に出場し、金メダル26個、銀メダル12個、銅メダル16個、合計54個のメダルを獲得し、金メダル26個・メダル獲得数は過去最多のメダル数となりました。また、残念ながらメダルに手の届かなかった者も含め、選手一人ひとりが持てる力を十分に発揮した大会であり、選手の競技に取り組む姿勢は、付き添った役員だけでなく、観戦された多くの方々へ感動を与えるものでした。これも、選手団結成以来、選手の努力はもとより、強化練習3回、施設等へ出向いての役員・指導員の力添えがあったからと確信しております。そして、他県の選手団や岡山県のボランティアの皆さんには大変親しくしていただき、選手にとって、スポーツを通じた心のふれあいを体験できた思い出深い大会になったことと思います。

5年後の山口国体を目指してさらなる飛躍を期待します。

## 体験レポート紹介

### 大会を振り返って

監督 **佐々木 亘** | 山口陸上競技協会強化委員会 障害者スポーツ部 部長  
(山口県立萩養護学校)

全国障害者スポーツ大会を迎えるまで、5回の強化練習をして来ましたが、暑い時期での練習だったのでつらい思いをした選手もいましたが、この強化練習により選手・役員間のコミュニケーションが図られ、回を重ねるごとに連帯感が生まれてきました。その練習の成果を十分に発揮し、心に残る大会となるように祈念し大会に臨みました。

競技場では、他県の選手や役員の多さに緊張の面持ちを隠せない選手もいましたが、競技が始まると緊張感が良い集中力へとつながり、次々とメダルを獲得したことは、たいへん喜ばしいことでした。惜しくもメダルは取れなかった選手も、自己記録更新という満足のいく成績が出せるなど、お見事という印象を受けました。良い記録を出すことはもちろんうれしいのですが、何より、一人ひとりが全力を出しきったことが良かったと思いました。また、競技を終えて、テントに戻って来たときの選手の達成感にあふれた満面の笑みは、私達役員に感動と勇気を与えてくれました。

当初、このような大役をおおせつかり「大丈夫だろうか。」と漠然ながら、不安感が先行していましたがひたむきに頑張る選手の姿や役員の皆様に支えられ、いつの頃からか、私自身、楽しみながら共にやっていました。

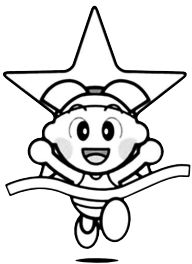
選手全員が、最高の力を出しきった素晴らしい大会だったと思います。その熱い思いが、さらなる挑戦へつながることを願っています。

# 陸上

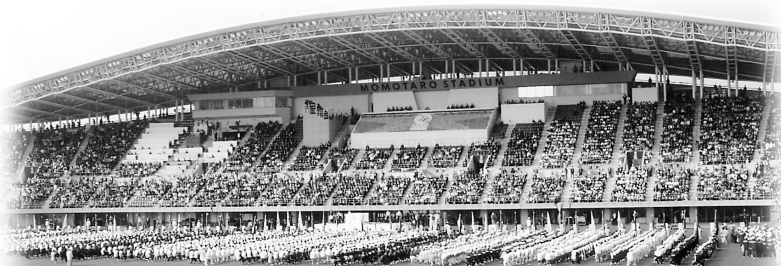
Track&Field

【会場】

岡山県陸上競技場  
(桃太郎スタジアム)



Track&Field



## 「輝いて!おかやま大会」に参加して

選手  
則松俊宏 | 周南市

岡山大会で、ぼく達は「かがやき」ました。そして、たくさんの友達と思い出を作りました。障害急歩ではハードルに足が当たって、ちょっとくやしかった。でも両親が「堂々としていたよ」とほめてくれました。

銀メダルをもらって選手村に帰ると、みんなが拍手で迎えてくれました。コーチの先生と握手しました。うれしかったです。

次も出場できるように、毎日運動をしてゆきます。みなさん応援してくれてありがとうございました。

## 初めての出場

選手  
森廣隆 | 山口市

全国障害者スポーツ大会の陸上競技に出場しました。100m走は銅メダル、200m走は銀メダルを獲得しました。初めて出場でメダルを獲得出来てよかったと思いました。一緒に走った選手は、来年度の良きライバルとして目標になりました。

今年は、コーチや選手団の皆さんの応援のおかげでメダルを取ることが出来ました。本当にありがとうございました。来年も、金メダルに取るようにがんばりたいと思います。

## “輝いて!岡山大会”に出て

選手  
高梨賢人 | 防府市

県の代表選手として、僕は初めて全国障害者スポーツ大会に参加することができました。僕は難聴ですが、このような大きな大会に出るのは初めてでドキドキしました。この大会にはいろいろな障害を持った方々が参加され、それぞれが一生懸命頑張っている姿に、もの凄く心が熱くなり、感動しました。僕は沢山の方々から不思議なパワーをもらった気がします。この経験を生かして何事に対してもあきらめず頑張っていけそうな気がしてきました。

## 第5回全国障害者スポーツ大会に出場して

選手  
浅見弘子 | 周南市

私が障害者スポーツの全国大会に出場したのは、これで2回目になります。最初は、11年前に徳島県で開催された「全国身体障害者スポーツ大会」に100m走と走幅跳で出場しました。

当時は、全国大会は一生に一度しか出場できない大会でもあり、まだ私も若かったし「せっかく巡ってきたチャンス!出られる時に出よう!」と決意して出場しました。この時の成績は、100mは惨敗、何とか走幅跳で銅メダルを獲得することができました。この時ブロンズ色のメダルが涙にかすんで金色に見えたことを覚えています。

その後、しばらくはスポーツ活動からはなれていましたが、全国大会も「全国障害者スポーツ大会」となり、何回も出場することが出来るようになったことを知り、キラリンピック(選考会)に出場したところ、なんと山口県選手団に選考され、私は大変うれしく思いました(^o^)

今回の大会には、齢も重ねたことから2部の60m走とソフトボール投げに出場しました。

大会まで毎日々々、施設の昼休みや休憩時間を利用して、施設の友達と一緒に練習を重ねました。「痛かったストレッチ!」「苦しかった坂道ダッシュ!」強化練習で思うようにタイムが出ず、ダッシュの距離が伸びたときには「かんべんしてほしいな～」とも思いました。しかし、今回は幻ではなく絶対に金色のメダルを持って帰ることを目標に練習を続けました。

最初の試合は、土砂降りの雨の中ソフトボール投げでした。緊張してイメージ通りにいかず4位という成績でしたが、自己ベストを出すことができました。

翌日、いよいよ必死に練習してきた本命の60m走です。位置について・用意・号砲、私は必死で走りました、ゴール!…。選手控え室での成績発表「第1位…」私の名前だ!とうとう夢にまで見た金メダルを獲得できました。

金メダルを獲った後、嬉しすぎてコーチと一緒に泣きました。みんなに今までで最高の走りだったと言われてまた涙が出ました。ずっと一緒に練習してくれた友達に「ありがとう!!」

これも、施設の仲間たちや職員のみなさんが応援してくれたからこそまでがんばれたと思います。そして、岡山県のサポーターのみなさん、山口県役員のみなさん、選手のみなさんの応援があったからこそです。みなさん本当にありがとうございました。

## 第5回全国障害者スポーツ大会に参加して

選手

中野美里

下関市

「走れる」「走る」喜び。

今回多くの仲間の励ましやスタッフの方々の思いやりを身体いっぱい感じながら「走れる喜び」を実感しました。スタートラインに伴走者と一緒に立っている私は幸せ者でした。陸上を始めて二年余りですが、たくさんの「友情」の灯りを見つけることができました。

大会では、山口県役員の方々や岡山市民のボランティアの方々の支えにより、楽しく日々を過ごすことができました。山口県代表として選抜して頂いたことを心よりお礼申し上げます。

## 輝いて!おかやま大会

選手

野坂千恵子

田布施町

11月5日～7日に開催された第5回全国障害者スポーツ大会に、私は陸上選手として参加しました。役員の皆さんが出場選手に暖かい拍手で「いってらっしゃい」と見送り、競技を終えた選手には「お帰り」と拍手でお出迎え。私はこの雰囲気大好きでした。私もあまり緊張せず競技に参加し、二種目とも入賞する事が出来ました。これも役員の皆様の支えがあったからだと思います。またチャンスがあれば全国大会に参加したいですね。

## 第5回全国障害者スポーツ大会参加に関する感想

選手

久田直行

田布施町

全国障害者スポーツ大会では、いろいろな経験をしました。自分が印象的だったのは、200mで世界大会の選手と競ってももちろん負けてしまいましたが、その選手と話して練習や生活の事を教えてもらいました。これで自分の目標ができて来年に向けて練習内容が変わっていくと思います。後、自分が好きな種目の400mを走ってみようと思います。中学校の時によく走っていました。新しい種目に挑戦しようと思います。

## 第5回全国障害者スポーツ大会参加に関する感想

選手

中村英樹

田布施町

ぼくはこのスポーツ大会で100m走と50m走、リレーに出場しました。大会までは山口市の陸上競技場でいっぱい練習しました。ぼくは岡山県に到着するまで、いい走りができるか、またメダルが取れたらいいなとずっと考えていました。でも指導していただいた先生方のおかげでメダルを3個も取ることができました。すごく感動しました。本当にいい思い出を作ることができました。ありがとうございました。また出場し走りたいです。

## 全国障害者スポーツ大会

選手

藤本隆典

下関市

400m、1500mで出場した藤本隆典です。大会出場が決まり、とてもうれしかったです。大会の開会式の入場行進では旗手を務め、とても緊張しました。大会当日は、体調を崩していましたが、400mで金メダル、1500mでは銀メダルが取れました。これも役員やコーチ、そして家族の応援のおかげだと思います。これからも、いろいろな大会などに出場し走り続けたいと思います。

## 自分に自信が持てるようになりました

選手

内山裕希

防府市

今回、僕は100m・200mに出場しました。それとリレーの選手に選ばれアンカーを走りました。昨年も山口県の代表に選ばれ200mで銅メダルを取りました。今年もメダルが取れるように頑張りました。強化練習にも参加していたのでいい記録で走れると信じていました。大会ではみんなが応援してくれたので自分のベストが出せてうれしかったです。100mは4位、200mとリレーは3位で銅メダルを2つとることができ、自分にすごく自信が持てるようになりました。これからもいろんなことに挑戦していき、頑張りたいと思います。最後に練習を教えてくださいました指導者や大会関係者のみなさんお世話になりました。ありがとうございました。

## 大会を終えて

選手

西村知之

山口市

僕は今回岡山県で行われた第5回全国障害者スポーツ大会に出場しました。去年の埼玉と同じく800mと1500mに出場しました。その結果2種目とも金メダルをとることができました。今までの練習の積みかさねが出たことだと思います。来年も大きな大会でメダルがとれるようにとれるようにがんばりたいと思います。



## 「はじめての全国大会」

選手

石原 妙子

宇部市

私は、今回、初めて全国大会に出場しました。種目は、陸上のソフトボール投げと立ち幅跳びでした。本番は、とても緊張しました。自己ベストの記録が出せてうれしかったです。でも、メダルは取れませんでした。メダルが取れなくて悔しかったけど、自分の力が精一杯出せて、よかったです。サポーターさんや選手の皆さんと話したり、写真をとったりできたことも、とてもうれしかったです。来年も全国大会目指して、頑張りたいと思います。

## 第5回全国障害者スポーツ大会に参加して

コーチ

白井 隆司

山口陸上競技協会強化委員会 障害者スポーツ部 総務  
(防府市立佐波中学校)

今回、選手とともに行動し、選手の立場で参加させていただいたことで、競技運営方法を振り返るととてもいい機会になったような気がします。全国大会ということもあって、選手の招集等に余念がなく、3日間滞りなく競技が運営されていったわけですが、それがかえって選手にとって厳しい環境になっていたように思いました。たださえ朝夕の冷え込みや天候の変化等でコンディションづくりが難しいこの時期ですので、選手を支えるスタッフの方々のご苦勞を考えると、もっともっとわれわれ競技役員も変わっていかねばならないと強く感じました。この貴重な経験を6年後に開かれる山口大会に微力ながら生かしていきたいと思っています。

## ☆ 輝け!ナ・ミ・ダ ☆

コーチ

通山 賢一

セルブ周陽

山口県選手団選手のみなさん「一生懸命」をありがとう。役員のみなさん献身的なサポート「お疲れ様」でした。そして、声を大にして「みんなにありがとう！」

さて、気が付くと今回の山口県選手団の中で、私の全国障害者スポーツ大会の経験は、全国身体障害者スポーツ大会から通じて最も多いものになっていました。

「何とかせんといけん！」と走り回った若き日々…。されど今や身体の重さが走ることを許さず、選手と一緒にアップをすれば何故か選手より心配され…。選手を含め、みんなは今の私に何を求めているのか？自分のできる事は何かあるのか？自分の役回りを真剣に考えるようになっていました。

しかし、私はこの大会に今でも変わらず大きな魅力を感じています。それは、障害者スポーツの国内最大の祭典という意味ではなく、人間の可能性を信じさせてくれるドラマにいつもめぐり会えることにあります。

人間誰しも「できないかもしれない」と思えば可能性はなくなってしまいます。「できるかもしれない」と思うことで可能性は限りなく膨らんでいくでしょう。

選手の可能性を信じる心。何とかしてあげたいと思いやる心。励ます心。コーチの心はいつも選手と共にあります。選手の苦悩はコーチの苦悩、選手の喜びはコーチの喜びになります。

選手の一生懸命さ、力強さ、輝く笑顔と共に、コーチの目からも大粒の美しく輝くナミダがとめどなくあふれます。拭ってもめぐっても嬉しいはずなのに…。美しく輝くナミダはみんなを幸せにした証と信じています。

私はこの大会で、これまでたくさんの美しく輝くナミダに出会ってきました。これは何ものにも変えがたい素晴らしい経験です。

私もまだまだこの夢舞台の隅でいいから立っていたい。選手やコーチ、役員の熱く・美しく・素晴らしい、輝くナ・ミ・ダとともに……。

## 晴れの国 岡山大会

コーチ

**徳光紀代**

(山口県立宇部養護学校)

5泊6日の長い遠征も、終わってみれば、あっという間のことのように。今年は、久しぶりに陸上競技のお手伝いをさせていただくことになった。それぞれ、個性を発揮する選手とスタッフで、初めは、グチャグチャ、ゴチャゴチャな雰囲気。大丈夫かしらと少々不安になりつつも、日を重ねるにつれ、見事なチームワークに進化…。それがメダルという結果につながった。今年もたくさんの出会いと感動をいただいたことに感謝しています。

さあ、みなさん、来年に向けて、また、頑張りましょう!!

## 全スポ 最高☆

コーチ

**登城文晴**

障害者スポーツ指導員

(山口県コロニー協会)

昨年に続き2度目の役員でした。埼玉は中野さんの伴走もあり、選手並みの緊張と感動の大会でした。今年はやや落ち着き(?)、合宿や強化練習、大会に参加出来ました。この1年で、私の障害者スポーツの関わり方も考え方も大きく変わりました。私は全スポに参加する選手・役員の方々が、人生にとって何かのプラスの要素を感じ取ってくれたらいいなと思います。満足(良い記録だけではなく)した選手の笑顔を見ただけで、幸せです。これからも微力ながらお手伝いしていきたいと思っています。

みなさん、ありがとう(^\_^)

これからもよろしくおねがいします。



Track&Field

## 貴重な体験

コーチ

**坪井康郎**

障害者スポーツ指導員

(山口県立徳山養護学校)

初めて陸上のコーチ兼野坂さんの伴走者として岡山大会に参加させていただきました。「800mは3分50秒を切る自己記録更新」を目標に練習計画を立て、ハードな練習に取り組んできました。共に緊張することなく声援を背に受け、走ることでできる喜びを感じつつ、レースを楽しみました。結果は3分44秒台で、ベストより10秒以上も上回り、銀メダルを胸にされたときは目頭が熱くなり、改めて目標を持って努力することの大切さを痛感させられました。

最後に、大会に参加する機会を与えてくださった多くの関係者の皆様方に感謝するとともに、この貴重な体験をこれからの障害者スポーツの普及と競技力向上のために活かしていきたいと思っています。



## 継続は力なり

コーチ

**金丸里絵**

(山口県立山口養護学校)

全国障害者スポーツ大会に役員として参加させていただくのは、今回が2回目です。初めて参加させていただいたのは、第2回大会の時でした。その時に陸上少年の部に参加した生徒が、今年、社会人として陸上青年の部に出場しました。養護学校の生徒は、学校を卒業するとスポーツをする機会が少なくなります。しかし、彼は陸上を続け、今年初めて金メダルを獲得することができました。今までのがんばりの成果が、一つの金メダルとして形になったように思います。今年、山口養護からは2名の生徒が陸上に出場しました。彼らも、これからずっと陸上を続けてほしいと願っています。そして、そんな彼らを応援し続けたいと思います。



Track&Field

## 第5回全国障害者スポーツ大会に参加して

コーチ

**古屋庸江**

障害者スポーツ指導員

去る11月3日から8日までの6日間、障害者スポーツの祭典、第5回全国障害者スポーツ大会（輝いて！岡山大会）へ、役員（陸上競技）の1人として参加させていただきました。陸上経験がほとんどない私にとって、強化練習で日を重ねるごとに、記録が向上する選手のみなさんには驚かされるばかりでした。心のケアをする立場の私にとっては、みなさんの気迫についていくのがやっとでした。

今回は、現地で安達選手のサポートを主にさせていただきました。砲丸投げの役てきの瞬間まで不安でいっぱいでしたが、競技をおえられた後はベストをつくされたんだと思い、ホッとしました。今まで、積み重ねた練習を思い出し、まだ計測が行われていない時点でも思わず感無量になりガッツポーズをして、二人で喜びをわかちあいました。（結果：大会新記録で金メダルを獲得されました）

また大会期間中、私はずっとうれし涙ですごしたような気がします。好成績をあげられた選手から花束のプレゼントをいただいたり、惜しくもメダルにとどかなかった選手の方と応援めぐりをしたり、一緒になって一生懸命走りまわりました。

いろんなことを経験した6日間でしたが、指導者（心のケア）として貴重な経験をつむことができ、とても感謝しています。すべての行事をおえた今、振り返ってみると今までに味わったことのない充実感を得ることができ、また年齢のわくをこえたコミュニケーションをとることもできました。

最後に、選手のみなさま、役員のみなさま、多くの感動と勇気をあたえてくださり、ありがとうございました。お疲れ様でした。

## 全国大会感想

コーチ  
浦野 芙美子 障害者スポーツ指導員  
(じねんじょ)

大会の3日間はあっという間でした。今大会は選手の頑張りで、たくさんのメダルが生まれました。体調の万全でない中で手にした金メダル、一つ目の競技で銅メダルだった悔し涙をバネに掴んだ金メダル・・・たくさんのメダル、その一つひとつにたくさんの感動がありました。目標に対して真っ直ぐ懸命に突き進む姿はキラキラ輝いていました。そんな選手一人ひとりの姿に私自身、感情を大きく揺さぶられ、涙、涙の忘れられない3日間となりました。

これからもモーフアンとして、山口県選手を応援して行きたいと思います。そして、今自分の所属するバスケットチーム、またじねんじょのメンバーと一緒に全国大会出場に向けて夢を実現させたいと思います。

## チームワークで繋がったバトン

現地サポートスタッフ  
藤井 真紀恵 障害者スポーツ指導員

「第3位山口県、49秒77」リレーで2年ぶりのメダル獲得でした。リレーメンバーの4人はその瞬間、最高の笑顔を見せてくれました。今でもあの感動と笑顔を忘れることができません。特に今年のリレーメンバーは短距離が4人しかいなかった為、1人でも欠けたら今回のメダルは無かったことでしょう。4人の気持ちがメダルへと繋がったのです。

また、山口県選手団の応援も大きな励みになりました。全員の想いが詰まった価値あるメダルだと思っています。

今年も良い経験をさせていただきました。選手、役員の皆さん、本当にお疲れ様でした。そしてありがとうございました。これからも自己ベスト目指して一緒に頑張ってくださいね。

## 第5回全国障害者スポーツ大会を終えて

現地サポートスタッフ  
玉川 美樹 障害者スポーツ指導員  
(下関市障害者スポーツセンター)

ひとり岡山へむかう新幹線の中で、資料を見ていたが頭に入っていない。現地サポートとしてどんな仕事があるのだろうか？何が出来るのだろうか？遅れて現地入りして選手に受け入れてもらえるだろうか？軽い気持ちで応募したものの大会日が近づくにつれて不安な気持ちは高まっていたが、新幹線の中でそれがピークに達していた。しかし、ホテルに着くとその不安も一気に吹き飛んだ。夕食から合流し、選手、役員に暖かく迎え入れていただいたからだ。その後、次の日に介助で選手につくことがわかり、また不安な気持ちが舞い戻って、眠れぬ夜を過ごすことになるのだが…。

大会2日目、学生時代から全く縁のなかった全国大会の場に立つことができた。もちろん選手としてではないが『介護』と書かれたビブスを着て、選手と共にスタジアムに入った。緊張のあまり言葉が思うようにでない。だが、私が緊張しているのを選手に悟られないように笑顔で振る舞う。多少引きつった笑顔だっただろう。「自分のペースで走れば大丈夫、大丈夫。」大丈夫というのは自分にも言い聞かせていた。体調を崩し、朝食もあまりとっていない選手に「がんばれ」という声かけはできなかった。ひたすら体をさすって温めたり、肩を揉んだり自分自身も動いてないと固まってしまう気がした。「寒くないですか？」「大丈夫です」私は震えるぐらい寒いのにと思ったら緊張のせいだった。

いざ競技が始まると『介護』ビブスを着た者は応援もできない。声をかければそれは助力とみなされるからだ。「がんばれ！がんばれ！」と心の中で叫び続けた。第4コーナーをまわっ

て最後の直線で失速。それまでトップを突っ走っていたがスタミナが尽きてしまったようだった。思わず「ラスト、ラスト」と叫んでしまった。周りからジロツと見られて慌てて隠れた。何とか逃げ切って1位でゴール。かなりきつそうな顔つきだった。

この日に2種目あり、次の競技は棄権かと思われたが、本人の強い意志で出場した。「無理をするな」という監督の指示どおり、自分のペースで走り、ペースダウンしていく選手を次々に抜いて2位という成績をおさめた。今度はふたりで喜びのハイタッチをする余裕もあった。

大会3日目、私が日頃練習を見ている選手が出場した。競走相手のいないレースだったので、自分自身との勝負だった。アップでは緊張している様子もなく、いい走りをしてくれた。時間が迫ってくると緊張感が増してくるかと思っただが、それもあまりなかった。これはいいタイムがでるぞと期待し競技に臨んだ。しかし、予想に反していつもと違う行動をとってしまいタイムロス。そしてそういうときは決まって慌ててしまい、しなくてもいいミスを生んでいるのがいつものパターンだった。が、その後はノーミスでかなりきわどい攻めの走りをしてくれた。緊張や焦りで不随意運動を起こしやすい中、ノーミスでますますのタイムが出せたことは快挙だった。

最終日の夜の慰労会では、選手や役員の労いの言葉や気持ちに感激してしまった。ただ応援にかけつけていただいただけではこのような感動は味わえなかった。

現地サポート員として精神面でのサポートだけでなく、競技面での介助ができたことは私のにとって大きかった。競技のことは素人なので役員の方に教えていただき、短時間だが勉強になった。今回選手団に帯同できたことはとてもよい経験になった。今後の活動でこの経験を活かし、また機会があれば下関から選手と共に選手団に選んでもらえるようがんばってきたい。

## 全国障害者スポーツ大会を終えて

現地サポートスタッフ

**北村拓也**

(アクス周南)

“これまでの人生の中で最高の涙を流せた”

私が今回の大会を振り返って思うことは、まさにこの一言に尽きると感じています。

サポート員、そして伴走者として臨んだこの大会、大会前までの正直な気持を言ってしまうえば『不安9割・楽しみ1割』といったとこだったでしょうか？それが、大会を終えた今の思いは『充実度200%』ですっ！

選手の皆さん一人一人の、素晴らしい輝きを放つ瞳に心奪われ、スタッフや現地スタッフや現地サポーターの方々の熱い熱意に感動し、本当に自分にとって忘れられない貴重な経験になりました。

伴走者としても、今回の大会をステップに『全スポから世界へ！』という明確な目標が持て、パートナーの中野美里さんと共に、さらなる高みへ挑戦していけるという自信を得ることができました。

このような素晴らしい経験をさせて頂けたことに感謝すると同時に、今後の自分自身の生きる力として大いに役立てていくつもりです。ありがとうございました。



## 水 泳

Swim

[会場]

児島地区公園水泳場  
(児島マリナプール)

## 第5回全国障害者スポーツ大会参加に関する感想

監督

小林 修

(くすの園)

佐々木大輔さんは、重度でしかも自閉症です。家族の方は、この障害に正面から取り組むため、3歳の時から水泳を始めました。今回の大会で、その地道な努力が見事に開花し、出場した2種目の全てが金メダルでした。しかも50mでは、大会新記録を達成しました。表彰式で金メダルが首に掛かり、両手を上げてガッツポーズをした姿は、今でもハッキリ覚えています。

今回の大会を通じて感じたことは、参加者一人ひとりがしっかり目標を持ち、メダルの獲得だけでなく、自己記録を更新するために、日々努力をされていたことです。短い期間でしたが、私にとって今までに経験することの出来ない多くの事を勉強することができました。ありがとうございました。

## 第5回全国障害者スポーツ大会参加に関する感想

選手

出戸端 望

防府市

僕は昨年に引き続き、二年連続で大会に出場させていただきました。今年は昨年に比べ、自分自身に対するプレッシャーなどで、緊張して力が入ったりもしましたが、何とか良い結果を残すことが出来ました。また、水泳競技チームはチームワークが良く互いを応援し合い、選手全員がメダルを手にすることが出来ました。監督コーチをはじめ、関係者のみなさん、応援してくださった方々に感謝を捧げたいと思います。ありがとうございました。

## 岡山大会に参加して

選手

佐々木 大輔

下関市

6日間おつかれさまでした。  
水泳楽しかったです。  
大会新がでて、うれしかったです。  
みんなにあえてうれしかった。  
ありがとうございました。



## 初めての全国大会

選手

長棟 純平

周南市

初めて全国障害者スポーツ大会出場して、緊張しました。特に開会式にたくさんの人でいっぱいだったのでびっくりしました。試合会場の広さにも、おどろきました。試合が始まって、緊張もなくなって、泳ぎに集中して、結果が3位と言う事で、とてもうれしかったです。初めて出場して3位が取れるとは思いませんでした。次回に出る時は、金か銀を取りたいと思います。

たくさんの応援ありがとうございました。

## 全国大会感想

現地サポートスタッフ  
出戸端 真由美

障害者スポーツ指導員



今回、現地サポートとして水泳競技のお手伝いをさせていただきました。正直何をしたいのか戸惑うこともありましたが、私なりに選手の皆さんが平常心にてレースに挑むことが出来るようにと、サポートすることに努めました。只、自分では気負っていたわりには大したことは出来ず、終わってみれば選手の皆さん以上に楽しませていただいたようで申し訳なく感じていますが、レース中の応援や、選手への声かけは誰よりも盛大に行えたのではないかと思います。レース前の緊張した表情、メダルを手にしての晴れがましい笑顔など、終わってしまった今でも目に浮かぶことがあります。本当にいい経験をさせていただきました。ありがとうございました。皆様お疲れ様でした。

## 全国大会感想

監督  
江口 亨

山口県アーチェリー協会

第5回全国障害者スポーツ大会は桃太郎伝説の地岡山県で開催されました。“輝いて！おかやま大会”のスローガンの下、選手、役員、ボランティアが心をひとつに支えあって競技大会は行われました。

アーチェリーの競技会場は岡山市内、操車場跡地の広々とした豊かな自然の中で行われました。“晴れの国、岡山”も競技会当日は風雨に見舞われましたが、大下選手は、代表に選考されて以来多くの強化試合で鍛えてきた平常心と集中力で、初回に大差のついた劣勢を挽回し準優勝を勝ち取ることができました。

6年後の山口大会にむけて山口県勢の活躍が大いに期待されます。

## すばらしい大会にチャレンジ!!

選手

大下 博

柳井市

橋本団長さんをはじめ、役員の皆様方には大変お世話になり、ありがとうございました。大きな、大切な思い出を作ることができ、家族も大変喜んでくれました。

また、山口県身障アーチェリー協会の江口亨会長がアーチェリーの監督として参加され、強化練習の時から出発直前までいろいろと指導いただき、お陰様で悪天候での試合でしたが、集中して臨むことができました。応援と激励をいただいた山口県のアーチェリー仲間の方々に感謝・感謝!!



# アーチェリー

Archery

[会場]

岡山操車場跡地公園  
(仮称)  
暫定整備広場自由広場



Archery

## 卓球・STT

Table Tennis・Sound Table Tennis

## [会場]

総社市スポーツセンター  
体育館  
(きびアリーナ)



Table Tennis・Sound Table Tennis

## 第5回全国障害者スポーツ大会参加に関する感想

監督

平田 リチ子

山口県障害者卓球協会

平成17年11月5日(土)～7日(月)にかけて、岡山県で開催されました標記大会に卓球の監督として、参加しました。

前監督の山口県障害者卓球協会理事長の大平さんから、監督をしてみないかと声をかけられ、始めは戸惑いと不安もありましたが、主人の進めもあり、この大役を引き受けてしまいました。

最初は、何から始めていいかわからず、取りあえず大平さんの助言のもと出場選手の卓球相手をして、仲良くなることからスタートしました。

練習方法も考え、仕事の合間に参加選手の学校にも度々、足を運んでみましたが、選手の方々と練習やスポ協主催の強化練習をしているうちに、責任の重大さをひしひしと感じてきました。

私で役に立つことはないかと、いつも心の中に留め置き、監督というよりは、選手の側に立った視点に重点をおき、練習などのお世話をしようと思いました。

お陰をもちまして、岡山国体も無事終了し、私は、気の良い卓球のスタッフ(岡山県のサポーター含む)達にも恵まれ、5人中金4、銅1の好成績を挙げることが出来、今は、野稲、原、板井、末次、宮本各選手に感謝の気持ちで、一杯です。

皆さん、ありがとうございました。

終わりにになりましたが、県障害福祉課の多田さん、山口養護学校の来島先生、山口県ろう学校の竹森先生、大変お世話になりました。



## 全国障害者スポーツ大会に出場して

選手

板井 幸一

山口市

僕は、全国障害者スポーツ大会(輝いて!おかやま大会)へ卓球の種目として出場しました。晴れの国と呼ばれる岡山にて山口県選手団の一員として卓球競技を頑張ることが出来たと思います。結果は銅メダルだったけど、この大会でしか得られない気持ちを経験出来ました。有り難うございます。山口県選手団の皆さんと一致団結して昨年よりも好成績を取ることができた事を誇りにしています。選手団の皆さん、お世話になりました。

## 全国大会に参加して

選手

原 寛 幸

山口市

僕は、11月3日から11月8日まで岡山で行われた全国障害者スポーツ大会に参加しました。僕は卓球競技に出ました。見事に金メダルを取ることができました。去年の埼玉大会に続いて二連覇です。1回戦は3対0で2回戦は3対1で勝ちました。本当に嬉しかったです。また、宿泊したホテルもとてもきれいで良かったです。あっという間に終わってしまいましたが、来年も出場して金メダルを取りたいです。



## 第5回全国障害者スポーツ大会参加に関する感想

選手

末次 恭子

平生町

私は全国障害者スポーツ大会で卓球に出場し、目標の金メダルを獲得しました。これまでつらいこともありましたが、先生や先輩達のご指導もあり、大好きな卓球をどんなに苦しくても頑張ってきました。だから、金メダルを獲得した時は、涙の出るほど最高に嬉しかったです。そして、大会だけでなく全国の人との交流を互いに楽しみ、仲間と支え合い、応援し合ったことなどたくさんの貴重な思い出が出来たことを深く感謝しています。

## 第5回全国障害者スポーツ大会に参加して

選手〈STT〉

宮本 豊

下関市

私は、10年前ぐらいから視力・視野が低下し、悩み苦しんだ時期がありましたが、視覚障害者の皆さんの薦めによりSTTに巡り会うことができました。

今回山口県代表として、全国大会へ出場することができ光栄に思います。この大会で学んだことは、平常心・あきらめないことです。

大会では、山口県役員の方々や岡山市民のボランティアの方々の支えにより、楽しくプレーをすることができました。

これから先STTの普及に努めていきたい思いで一杯です。

皆様に心よりお礼申し上げます。

## 第5回全国障害者スポーツ大会を終えて

コーチ

竹森 勇

山口県立聾学校

「輝いて！おかやま大会」、盛大な大会が無事終了した。

卓球競技役員として始めて参加し、また、聴覚障害以外の選手との接触など今までない経験ばかりで多少の不安もありました。しかし、各選手それぞれが、自分の力を遺憾なく発揮し、全員の卓球選手がメダル（金メダル4個、銅メダル1個）を獲得できて、大変うれしく思います。現地でのサポーター・役員・選手団の皆さんの協力と頑張りがこのような成果をもたらせたのだと思います。このような素晴らしい大会参加させていただき本当にありがとうございました。

## 第5回全国障害者スポーツ大会に参加して

コーチ〈STT〉

大下 勝 義

光市視力障害者協会

「輝いて岡山大会」の入場行進が、始まった。選手一同、今まで鍛えた力と技を、発揮したいと輝いた顔での入場行進、続いての開会式はすばらしいものであった。

卓球とSTTは、会場を総社市スポーツセンターに移動して、他県の選手と和気藹々に公式練習に取り組んだ。

試合当日、選手は、担当役員や、岡山県のサポーターの応援を頂き、日頃努力した成果を十二分に発揮し、卓球、STT共に金メダルを手にすることが出来た。STTの金メダルは、県初ということで皆が喜んでくれた。これも、県担当役員様のお力添えのおかげで、選手・監督が、試合に全力投球することが出来たからである。ありがとうございました。

## 全国障害者スポーツ大会 輝いて!おかやま大会に参加して

選手

山根 昇 悟

宇部市

私(僕)はボウリングで静岡大会と今年の岡山大会と2度参加しました。結果は思う様にいかなかったけれど、楽しく試合ができてとてもうれしいです。

交流会も楽しく、おいしい料理も頂きとても満足です。これからも又大会にむけてたくさん練習をして、レベルアップとてゆきたいと思っています。

たくさんの人達との出逢いがある、とても楽しい5泊6日でした。

## 全国障害者スポーツ大会に出場して

選手

戎 辰 也

田布施町

ぼくは岡山のももたろうスタジアムに行きました。久田くんと入場行進をしました。

ボウリングを水島ボウリング会館でしました。4位でした。残念でした。3位と人と1ピン差でした。来年は1位になりたいです。

ホテルで食べたトンカツがおいしかったです。よくねむれました。お父さんとお母さんが応援にきました。うれしくてがんばりました。4ゲームして、ストライクがたくさんでました。

# ボウリング

Bowling

[会場]

水島国際ボウリング会館

Bowling



## 全国障害者スポーツ大会感想

選手  
山本 加代子 | 宇部市

11月3日～8日まで全国障害者スポーツ、輝いておかやま大会がひらかれました。大型バスで鷺羽山下電ホテルにいくときに外がまっくらでまわりの景色がみられませんでした。ホテルの夕食の料理は、おいしかったけどたべきれなかったです。へやからは、瀬戸大橋がよくみえたのがよかったと思います。開会式では、たくさんの人がみにきていました。公式練習は、4人が同じレーンでなげました。よくじつのは、本番の競技開始のときに私がボウリングをなげるとなりのレーンでなげる人は、たくさんのストライクやスペアをだしていたのですごく上手だなと思いました。おかやま大会でサポーターでお世話になった実施本部員の渡部さんが、私にメダルおめでとうといってくれたのがよかったと思います。閉会式では、ミニコンサートみたいで、いっしょにうたってとてもたのしい閉会式だったと思いました。大型バスでホテルグランピア岡山のホテルは、とてもきれいでロビーがひろかったのでびっくりしました。慰労会では、とてもおもしろかったのでわらったりしてたのしい慰労会だったと思いました。全国障害者スポーツ、輝いておかやま大会に参加してとてもたのしかったし、瀬戸大橋もみえたのがよかったと思いました。



## 第5回全国障害者スポーツ大会参加に関する感想

選手  
横山 えみ | 宇部市

皆に見送られて（ボウリングの代表として）、岡山大会に参加しました。開会式はスタンドで見学しました。練習では一生懸命頑張ったのですが、大会では調子が悪くて、点がなかなかとれず負けました。来年こそ金メダルをねらいたいと思っています。秋山監督、日高コーチ、そして県の皆様ありがとうございました。

## 全国障害者スポーツ大会を終えて

コーチ  
日高 美穂 | (うべくるみ園)

7月の下旬に初めて役員・選手の皆さんと顔を合わせ、各競技に分かれての強化練習。ボウリングでは公式練習の他にも練習日を設け、練習を重ねてきました。そして迎えた全国大会。結果は4名中、メダル獲得1名（銅メダル）というものでしたが、メダル以外にも得た物は多かったと思います。『次回こそは！という新たな目標』、『勝ち負けにこだわらずプレイを楽しむ事』、『他人の勝利を称賛できる素直な心』、そして何より、『素晴らしい団結力』。この大会を通して、沢山の方々と出会い、私自身得る物が多かったと思います。他の役員の皆様にも大変お世話になりました。ありがとうございました。最後に、選手の皆様、沢山の感動をありがとうございました。

# フライングディスク

Flyingdisc

[会場]

水島緑地福田公園  
サッカー場



## 感動をありがとう!

監督

矢野慶実

山口県障害者フライングディスク協会  
(若葉園)

私はこの夏から大会終了まで監督を務めさせて頂きましたが、強化練習、そして全国大会と、まさに感動の連続でした。私自身、監督らしき仕事はしておりませんが、選手たちの意欲的な練習風景を見る度に、頭が下がる思いでした。

大会の2日間は、雨、そして風に悩まされましたが、選手らの健闘により、見事全員メダルを獲得することができ、私もホッとした次第です。この大会での数々のドラマや出会いは、本当に感動的なものでした。大会に関係した数多くの皆様方に感謝の気持ちで一杯です。皆さん、感動をありがとう!

## 第5回全国障害者スポーツ大会に参加して

選手

宮本朗

周東町

今回フライングディスク競技で参加しました。

そもそもフライングディスクを始めた動機は、今まで身体障害者の出場の実績がなかったので、これから興味を持ってくれる人が増えてくれればと思ったからです。

大会では、ディスタンスとアキュラシー5の種目に出場しました。コーチの「相手の成績を気にするな。自分の納得のいく試合をすればいいんだ。」の言葉を胸に競技に臨みましたが、ディスタンスでは組の一番手で冷静さを欠いていたのか、自己記録にも遠く及ばず満足のいく記録ではなかったので、後の選手の記録をずっと気にしていました。アキュラシー5の方は風が強くて苦労しましたが、最後まで集中して競技できたと思っています。

結果として、何とか銀と金のメダルをもらうことができてほっとしました。

全国大会の一番の魅力は、サポーターや他県の選手との交流はもちろん、たくさんの感動が味わえることです。これからも練習を積んでぜひ再度出場したいと思います。

選手、役員のみなさん本当にありがとうございました。

## 第5回全国障害者スポーツ大会参加に関する感想

選手

寺岡一伸

宇部市

第5回全国障害者スポーツ大会に出場出来た時とてもうれしく思いました。

フライングディスクでディスタニスをする時に雨だったので、とおいにとばす事が出来なくて銅メダルだったので、もっとうまく投げられるようにしたいと思います。

アキュラシー5で9枚で金メダルを取る事が出来たので次はアキュラシー7にちょう戦して10枚の内10枚入れられるようしっかり練習します。



## 第5回全国障害者スポーツ大会参加に関する感想

選手  
森 本 国 男 | 宇部市

岡山県であった全国大会に行きました。アキュラシーでは銀メダル、ディスタンスでは金メダルを獲得できました。全国の皆さんとふれあえ、とてもうれしかったです。新しい気持ちで練習を重ねて、次の大会をめざそうと思います。今回アキュラシーの成績が悪かったのは練習不足なのでしっかり練習するべきだと反省しました。メダルがとれたのはサポーターの方と実施本部員の方、役員の方たちの応援のおかげです。ありがとうございました。



## 全国障害者スポーツ大会

選手  
原 田 初 男 | 宇部市

自分は2回目の参加で心から嬉しくて、山口県の代表に選ばれたのでファイトと自分自身に気合を入れました。

大会中はメダルが取れるか心配でした。自分の力を出し切って投げれば大丈夫と思いました。ディスタンスではみんなの応援のおかげで、銀メダルを取れました。アキュラシーではメダルは取れませんでした。

サポーターの人たちとの別れが辛かったけど良い経験になりました。

## 第5回全国障害者スポーツ大会に参加して

選手  
瀧 欣 一 | 由宇町

私は、11月6日のフライングディスク大会の部に出場しました。最初のディスタンスでは、きよりが伸びず3位に終わりました。アキュラシー・ディスリート5では、きんちょうかんをもって競技にのぞみましたが、練習の成果がはつきできず、おうえんしていただいた皆さんのきたいにこたえることが出来なかったです。このくやしさをバネにして練習にはげみ、チャンスがあればさいどチャレンジしてみたいです。

## 第5回全国障害者スポーツ大会参加に関する感想

選手  
河 内 智 美 | 宇部市

11月3日から8日まで寺岡君と全国大会に行きました。新幹線のぞみ号で岡山に行きました。4日にフライングディスクの練習をしました。10枚入りました。そのあとゆう園地に行きました。6日にディスタンスのきょう技がありました。3位に入りました。善和園の職員に電話しました。アキュラシーで1位をとりました。金メダルをとりました。すごくうれしかったです。また、来年も行きたいです。

## フライングディスク 初めての金!!

選手  
浜田孝子 | 由宇町

ディスタンスの試合で、松原さんに連れられ招集所へ行きました。「4」の数字の席へすわりました。サイトの所へ並んで行き、説明を聞きました。練習と合わせて4本投げました。22m22cm測定。私が一番でした。

表彰式で金メダルをもらいました。初めて金を取れてとてもうれしかったです。アキュラシーは銅メダルでした。

## 全国障害者スポーツ岡山大会の感想

コーチ  
鈴木章弘 | 山口県フライングディスク協会  
(若葉園)

今回、山口県選手団F・D役員として有意義かつ大切な6日間を過ごすことができました。フライングディスクの選手は7名、全員がメダルを獲得しました。選手、役員は、この大会に臨む前に強化練習を行いながらフライングディスクの楽しさ、奥深さを再認識し大会への情熱、チームワークの向上を共に目指し大会に挑みました。大会までの過程もさることながら、それによって結果も見事に実を結ぶことができ大変嬉しく思います。

岡山大会で感じた山口県選手団への温かいもてなしの心、惜しめない拍手や応援、この大会を通じて知り合った、すべての人達に感謝の気持ちでいっぱいです。6年後の山口大会、自分に何ができるのか、考え実行していきたいと強く思っています。

## 全国障害者スポーツ大会に参加して

コーチ  
藤井淳 | (善和園)

第5回全国障害者スポーツ大会に、フライングディスク競技の役員として参加させていただいた。大会に備えての4回に渡る強化練習を通じ、選手・役員が打ち解けてとても良いグループを作ることができた。まとまりの良さと選手一人一人の努力で、金5、銀3、銅4の計12個のメダルを獲得することができた。メダルを獲得した時の、喜びと自信に満ち溢れた選手の表情が素晴らしかった。

スポーツを通じて自分らしさを表現し自信を得ていく、これが障害者スポーツの醍醐味のひとつではないだろうか。障害者スポーツに関わるようになって日の浅い私にとって、今回の全国大会はとても良い経験となった。



## 障害者スポーツ大会に参加して

コーチ  
松原 織 絵 (善和園)

私は、フライングディスク競技に出場する利用者の引率でスポーツ大会に参加させて頂きました。会場ではたくさんのスタッフやボランティアの方々の協力を頂き、雨の中の試合ではありましたが、出場者全員がメダルを受賞することができました。大会まで県の強化練習にも同行させて頂き、練習の成果がだせたことを利用者と共に喜んでおります。また、他競技出場の選手の方々との交流もでき、利用者共々とても励まされ元気をもらうことができました。ありがとうございました。

## 第5回全国障害者スポーツ大会に帯同して

理学療法士  
尾畑 敏 江 (山口コ・メディカル学院)

「傷害は健常者もdisabledも関係ない。」私が障害者スポーツに関わってきた理由の一つです。大会は2日目に雨となりましたが、非常に印象深いものになりました。選手の皆さんの試合前の緊張と集中した顔、試合後の「勝った」という安堵と満足感、残念ながら「悔しい」思いを残したけれどやり遂げたという達成感に満ちた顔、どの顔も大会スローガンどおり輝いていました。結果が出るたびに、選手団のテントでは歓声が上がリ、喜び合ったと同時に皆さんの競技者としての可能性を実感しました。選手の「勝つ」という意欲に、メディカルの立場からどれだけ答えることができるのか、今後の私自身の課題です。最後にこのような貴重な機会を与えてくださった関係者の方々、選手の皆様へ深謝申し上げます。

## 第5回全国障害者スポーツ大会参加に関する感想

看護師  
石川 芳 江

ボランティアの席で今大会の依頼をうけました。救護と伺い安易に引き受けました。強化練習に参加して、選手役員の方々に接する度自分の軽率さに気が付き何度も辞退しようと考えました。しかし一生懸命な皆様を覗いているうち、私にも何かお手伝い出来ることがあればと参加を決めました。期間中、私の人生でこんなに輝いている方々に出逢ったことが有ったろうかと自分に問いかけ続けました。皆様の努力に連日感銘を受けながら、ただ見守り応援する事しか出来ませんでした。皆様から頂いた感動に心から感謝しつつ今後の皆様の更なるご活躍を願い、またお会いできる機会の有る事を楽しみにしております。大変お世話になりました。

# 理学療法士

Physical Therapist

Physical Therapist

# 看護師

Nursing Master

Nursing Master



## 事務局

Secretariat

## 役員(事務局)として参加して

事務局・アーチェリー  
瀬原正博 山口県障害福祉課

4月に障害福祉課へ異動となり、担当業務の関係から、全国障害者スポーツ大会に役員(事務局)として参加する機会を得た。

私は、業務上、6年後の山口県大会の準備を担当しているため、岡山県大会の大会運営や競技運営に感動する一方で、これらを6年後には山口県でやらなければならないができるだろうかという不安も感じた。

また、競技はアーチェリーを担当させていただいた。当日はあいにくの雨であったが、大下選手は見事な精神力で逆転の銀メダルを勝ち取られた。

このように、大会を通じて多くの人から様々な感動を与えていただき、ひたすら感謝している。と同時に、今後の業務に是非生かしていきたいと思っている。

## チームワークの良さは他県を寄せ付けない素晴らしいもの

事務局・卓球  
多田基哉 山口県障害福祉課

この度、事務局役員として初めて全国障害者スポーツ大会に参加致しました。担当させて頂いた卓球チームは、STT種目で山口県初の金メダル獲得する等、素晴らしい成績を収めました。またそれ以上に、岡山県のスタッフの方々まで巻き込んだチームワークの良さは他県を寄せ付けない素晴らしいものでした。初めての大会参加で緊張していた私もリラックスしてサポートに回る事ができ、最後には沢山の感動を頂きました。

6年後には山口でこの大会が開催される予定です。それまでにやるべき事は沢山ありますが、選手も役員も、そして観客の方も感動を共有出来る最高の大会、そして選手団になるよう微力ながらサポートしていきたいと思えます。

## 第5回全国障害者スポーツ大会参加に関する感想

事務局・陸上  
川津直也 山口県障害福祉課

今回、陸上競技に帯同し、競技開始前の過ごし方が大事だということを感じました。大会前には計画どおりの練習メニューをこなし、体調は万全であったとしても、やはり不安はあります。競技開始前の一番緊張する時間、肉体的な最終調整とともに、気持ちの面での盛り上げが、競技本番での数秒、数分間の集中力・精神力となって、個々の能力を最大限に引き出す要因となったのではと思います。今回、参加した全選手が、持てる力を十分に発揮できたと思うし、そのことが非常にうれしく思います。

選手のみなさんには、その自信を持ち続け、来年のキラリンピックには、さらに一回り成長した姿で、会えることを楽しみにしています。

# 第5回 全国障害者スポーツ大会

競技	市町村	氏名	性別	年齢区分		競技種目	記録	順位	備考
陸上	周南市	則松 俊宏	男	陸上-7	1部	障害急歩	44 秒 00	銀	
						ソフトボール投	10 m 18 cm	5位	
	下関市	亀田 雅広	男	陸上-23	1部	スラローム2	37 秒 09	金	
						ビーンバック投	7 m 56 cm	銅	
	周南市	安達富美夫	男	陸上-13	1部	砲丸投	4 m 74 cm	金	大会新記録
						ソフトボール投	21 m 44 cm	金	
	防府市	森廣 隆	男	陸上-27	1部	100m競走	12 秒 02	銅	
						200m競走	24 秒 30	銀	
	山口市	小倉 翔太	男	陸上-27	1部	200m競走	25 秒 68	6位	
						走幅跳	5 m 27 cm	銅	
	防府市	高梨 賢人	男	陸上-27	1部	1500m競走	5 分 01 秒 84	4位	
						走幅跳	4 m 32 cm	6位	
	周南市	浅見 弘子	女	陸上-21	2部	60m競走	14 秒 34	金	
						ソフトボール投	9 m 05 cm	4位	
	下関市	中野 美里	女	陸上-25	1部	400m競走	1 分 13 秒 26	金	大会新記録
						800m競走			棄権
	田布施町	野坂千恵子	女	陸上-25	2部	800m競走	3 分 44 秒 46	銀	
						60m競走	14 秒 14	銅	
	周防大島町	久田 直行	男	陸上-28	少年	100m競走	12 秒 75	金	リレーメンバー
						200m競走	25 秒 74	銀	
	田布施町	中村 英樹	男	陸上-28	少年	50m競走	6 秒 92	銀	リレーメンバー
						100m競走	13 秒 05	銅	
	宇部市	西村 知之	男	陸上-28	少年	1500m競走	4 分 34 秒 84	金	
						800m競走	2 分 10 秒 16	金	
	周南市	内山 裕希	男	陸上-28	少年	100m競走	12 秒 91	4位	リレーメンバー
						200m競走	26 秒 55	銅	
	防府市	佐々木裕二	男	陸上-28	青年	50m競走	6 秒 95	銅	リレーメンバー
						100m競走	12 秒 95	金	
	下関市	藤本 隆典	男	陸上-28	壮年	400m競走	1 分 07 秒 65	金	
						1500m競走	5 分 20 秒 86	銀	
萩市	石原 妙子	女	陸上-28	少年	立幅跳	1 m 75 cm	4位		
					ソフトボール投	22 m 17 cm	6位		
防府市	吉木 和美	女	陸上-28	少年	50m競走	8 秒 42	金		
					100m競走	15 秒 97	6位		
		佐々木裕二	男	陸上-28	-	4×100mリレー	49 秒 77	銅	
		久田 直行	男						
		中村 英樹	男						
		内山 裕希	男						



# 個人競技出場選手記録一覧

競技	市町村	氏名	性別	年齢区分	競技種目	記録	順位	備考	
水泳	防府市	出戸端 望	男	水泳-20	1部	100m背泳ぎ	1分39秒23	金	大会新記録
						50m背泳ぎ	43秒17	金	大会新記録
	下関市	石田 奈美	女	水泳-60	1部	25m自由形	22秒31	金	
						25mバタフライ	25秒47	金	大会記録
	山陽小野田市	山縣 正明	男	水泳-27	青年	25m自由形	14秒54	銀	
						50m自由形	32秒51	銀	
	下関市	佐々木大輔	男	水泳-27	青年	50mバタフライ	31秒05	金	大会新記録
						25mバタフライ	14秒85	金	
	周南市	長棟 純平	男	水泳-27	青年	50m自由形	32秒90	銅	
						25m背泳ぎ	19秒50	銅	
7-7-1	柳井市	大下 博	男	アーチェリー-5	2部	リカーブ 50m30mラウンド	536点	銀	
卓球・STT	山口市	野稻 光美	男	卓球-8	1部	一般卓球	勝ち点 5点	金	
	岩国市	板井 幸一	男	卓球-17	1部	一般卓球	勝ち点 2点	銅	
	山口市	原 寛幸	男	卓球-18	少年	一般卓球	勝ち点 4点	金	
	平生町	末次 恭子	女	卓球-17	1部	一般卓球	勝ち点 3点	金	
	下関市	宮本 豊	男	卓球-15	2部	サウンド テーブルテニス	勝ち点 4点	金	
ボウリング	宇部市	山根 昇悟	男	ボウリング-1	青年	ボウリング	521点	5位	
	柳井市	戎 辰也	男	ボウリング-1	少年	ボウリング	590点	4位	
	宇部市	山本加代子	女	ボウリング-1	青年	ボウリング	545点	銅	
	宇部市	横山 えみ	女	ボウリング-1	青年	ボウリング	465点	4位	
フライングディスク	周東町	宮本 朗	男	フライングディスク-2	2部	ディスタンス アキュラシー-5	40 m 03 cm 8点	銀 金	
	宇部市	寺岡 一伸	男	フライングディスク-2	少年	ディスタンス アキュラシー-5	36 m 21 cm 9点	銅 金	
	宇部市	森本 国男	男	フライングディスク-2	青年	ディスタンス アキュラシー-7	49 m 24 cm 5点	金 銀	
	宇部市	原田 初男	男	フライングディスク-2	壮年	ディスタンス アキュラシー-7	39 m 07 cm 1点	銀 5位	
	由宇町	瀧 欣一	男	フライングディスク-2	壮年	ディスタンス アキュラシー-5	30 m 02 cm 3点	銅 6位	
	宇部市	河内 智美	女	フライングディスク-2	少年	ディスタンス アキュラシー-5	27 m 63 cm 9点	銅 金	
	由宇町	浜田 孝子	女	フライングディスク-2	壮年	ディスタンス アキュラシー-5	22 m 22 cm 5点	金 銅	



# 輝いて!おokayama大会の軌跡

H17. 5.15	第5回全国障害者スポーツ大会派遣選手選考会 〈陸上・水泳・アーチェリー・フライングディスク競技〉 兼 第5回キラリンピック（山口県障害者スポーツ大会）	231名参加
H17. 5.21 ~22	第5回全国障害者スポーツ大会 団体競技中・四国ブロック予選会	出場権獲得ならず
H17. 5.29	第5回全国障害者スポーツ大会派遣選手選考会 〈卓球・ボウリング競技〉	64名参加
H17. 6.10	第5回全国障害者スポーツ大会派遣選手決定 平成17年度山口県障害者スポーツ大会運営委員会にて	個人競技 40名を決定
H17. 7.23	山口県選手団役員打合せ会	
H17. 7.30	山口県選手団結団式	
H17. 7.30 ~31	派遣選手第1回合同強化練習	
H17. 9.25	派遣選手第2回合同強化練習	
H17.10.22	派遣選手第3回合同強化練習	
H17. 8.28 ~10. 9	陸上競技 個人・合同練習	延べ 5回
H17. 9.16 ~10. 9	水泳競技 個人・合同練習	延べ 2回
H17. 8.14 ~10.30	アーチェリー競技 大会の参加による練習	延べ 7回
H17. 8. 3 ~11. 2	卓球競技 個人・合同練習	延べ 30回
H17. 8.21 ~11. 3	ボウリング競技 個人・合同練習	延べ 10回
H17. 9. 4 ~10.29	フライングディスク競技 個人・合同練習	延べ 3回
H17.11. 3	山口県選手団壮行式・岡山県へ	
H17.11. 4 ~ 7	公式練習 大会	
H17.11. 8	帰県・山口県選手団解団式	
H17.11.26	山口県知事報告会	

